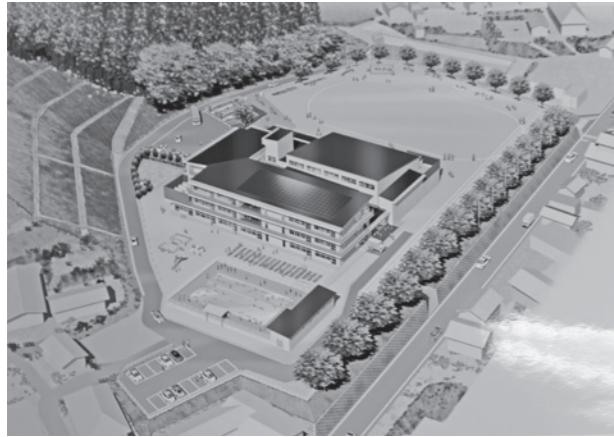
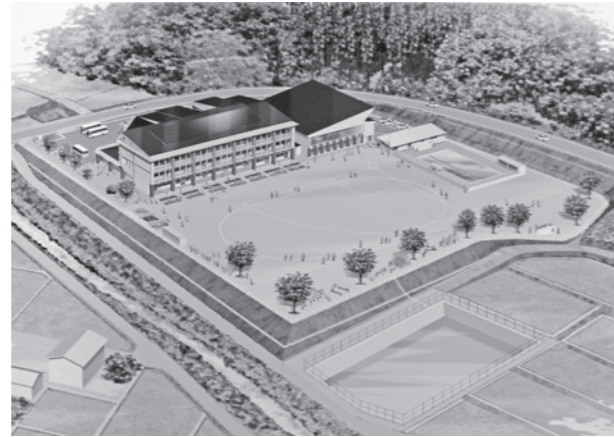


大越と滝根の小学校が新しくなります



▲大越小学校完成予想図



▲滝根地区統合小学校完成予想図

大越小学校と滝根地区統合小学校、2校の校舎と屋内運動場、プールを建築する工事安全祈願祭が、2月3日と6日にそれぞれ現地で行われました。富塚市長と校舎を施工する工事関係者がくわ入れし、玉串をささげ、無事故・無災害を祈願しました。



▲大越小学校改築工事安全祈願祭でくわ入れする市長

大越小学校は平成23年に牧野小学校と上大越小学校が統合し、さらに24年に下大越小学校と統合して開校しましたが、校舎が老朽化したため敷地内に改築します。校舎は鉄筋コンクリート3階建てで、校舎と一体型の体育館と25メートルプールを整備します。

滝根地区統合小学校は、滝根・菅谷・広瀬小学校の児童数の減少や校舎の老朽化、さらに菅谷小学校が東日本大震災で壊れ仮校舎で授業を行っているため、滝根町神保字弥五郎内地内に新築します。校舎は鉄筋コンクリート3階建てで、鉄骨造の体育館と25メートルプールを整備します。

両校とも平成28年4月に利用開始する予定です。

紅白の団子に願いを込めて



小正月の年中行事「団子さし」が2月7日、市歴史民俗資料館で行われ、参加者が五穀豊穡と一家繁栄を祈る伝統行事に親しみました。

30人の子どもたちは、船引町警青さざなみボランティア会と船引町生活研究グループ協議会の指導で、みずの木の枝に紅白の団子を刺し、大判や米俵を模した縁起物の飾りをつり下げて色とりどりの花が咲いたような団子の木を完成させました。

作業は黙々と続けられ、完成すると全員の顔に笑みがこぼれていました。

肉汁たっぷりの肉まん



常葉女性学級の第6回料理教室「アツアツ肉まん手作り教室」と閉講式が、1月17日に文化の館ときわで行われました。

肉まん作りは、学級生が昨年からの希望したテーマで、肉まんの生地と具を最初から作ることに挑戦しました。

出来上がった肉まんは、形が多少不格好なものになりましたが、蒸たて熱々は本当においしく全員がお腹も心も満たされました。試食後は閉校式を行い、本年度の女性学級の思い出と来年度の希望などを話し合いました。

吉田ユキノさんに百歳賀寿

常葉町常葉の吉田ユキノさんが、2月10日に満百歳を迎えられました。

県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会から賀寿と祝金、入所施設の特別養護老人ホームときわ荘から花束が贈られました。

ユキノさんは、大きな声でお礼を言いながら賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「定期的に湯治に行っていたこと」とのことです。



石井マツさんに百歳賀寿



大越町下大越の石井マツさんが、2月16日に満百歳を迎えられました。県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。

また、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、大越町老人クラブ連合会、南部老人クラブから賀寿と祝金、入所施設の桜美苑から花束が贈られました。マツさんは、にこやかに賀寿などを受けられました。長寿の秘訣は「自家栽培した野菜中心の食事をしてきたこと」とのことです。

船引南中が「十七字のふれあい事業」で表彰

船引南中学校が、県教育委員会主催の十七字のふれあい事業で学校賞を受賞しました。1月22日に県中教育事務所の鈴木次長が同校を訪れ、代表の生徒に賞状を手渡しました。

この事業は、子どもと家族が普段の関わりの中で感じた思いを十七字で表現するもので、船引南中では全校生で取り組んでいます。

子どもたちは学習や部活動、地域行事などで感じた思いを、家族は子どもの心を受け止め、励まし元気づける言葉を「十七字」で綴っています。



氷の上をスイスイ！



大越公民館事業「のびのびチャレンジスクール」のスケート教室が1月24日、磐梯熱海の郡山スケート場で行われました。

参加した34人の児童や保護者などは、インストラクターの指導を受け、スケート靴の縛り方から滑り方、止まり方などを学びました。何度も転びながらも午後には滑れるようになり、全員が400mの広いコースをスイスイ滑り、楽しい思い出を作りました。